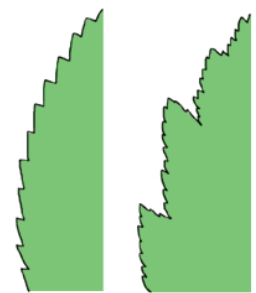


北小植物歳時記

イロハモミジ

体育館前に植えられているイロハモミジが真っ赤に紅葉しています。ここにあるモミジの葉は、赤ちゃんの手のように5つに裂けていますが、調べてみると5裂だけではなく、6～9裂するものがあるとのことでした。

名前のイロハは、葉の裂片を、いろはにほへと…と数えたことによると言われているとか。「モミジ」といえば、このイロハモミジを指すそうですが、他にはヤマモミジ、オオモミジがありました。プロでも見分けは難しいということのようですが、見分けるポイントのひとつに、鋸歯（ぎょし）があります。鋸歯とは葉の縁にあるギザギザのことです。オオモミジは単鋸歯ですがイロハモミジは重鋸歯となっています。他にも実の形や付き方に違いがあるようですが、専門的になると私も分からなくなってくるので、この辺りでおいておきます。



単鋸歯（左）と重鋸歯